

三田村有純 漆藝展 てのひらのあめつち

会期 = 2022年2月16日(水)→22日(火)

会場 = 横浜高島屋 7階美術画廊

※最終日は午後4時閉場。

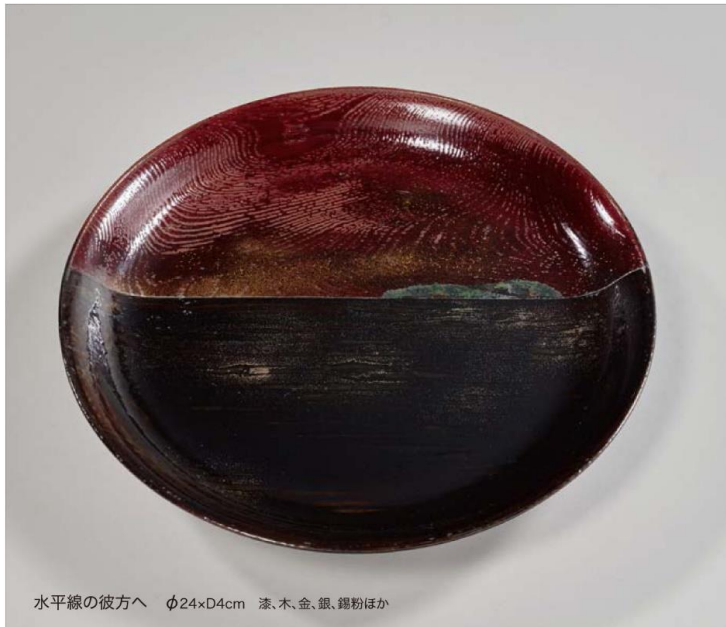
※都合により内容が変更・中止になる場合がございます。

※ご来店の際は「マスクの着用、手指の消毒」をお願いいたします。

また「混雑時の入場制限」「店内施設のご利用制限」をお願いする場合がございます。



夢の中で
H10×W9×D7 cm
漆、木、金、銀、錫粉ほか



水平線の彼方へ φ24×D4cm 漆、木、金、銀、錫粉ほか

三田村有純 mitamura arisumi 略歴

- 1949 東京都に生まれる
8代祖父自芳、9代父秀雄より蒔絵技法を学ぶ
- 1975 東京藝術大学大学院漆芸専攻修了
- 1998 ベルギー HIFA 王立美術大学院客員研究員 一年間在外研究
- 2013 第52回日本現代工芸美術展 内閣総理大臣賞受賞
- 2016 第3回日展 内閣総理大臣賞受賞
- 2018 日本藝術院賞受賞
- 現在 東京藝術大学名誉教授、参与
江戸蒔絵 10代継承

(収蔵)

カザフスタン国立博物館 / 中国湖北省美術館 / 中国福州沈紹安美術館
中国福州拓福漆芸美術館 / 韓国大邱大学博物館 / 台湾豊原漆藝館
台湾工藝研究發展中心 / 台湾桃園市立大溪木藝生態博物館
日本藝術院 / 東京都現代美術館 / 東京都庭園美術館 / サントリー美術館
国際交流基金 / 安曇野高橋節郎記念美術館 / 磐田市香りの博物館
東京藝術大学美術館 / 平成記念美術館ギャラリー / 虎屋文庫
奈良薬師寺 / 身延山久遠寺他

 Takashimaya YOKOHAMA

〒220-8601 横浜市西区南幸 1-6-31 TEL (045) 311-5111



天壤無窮 I H8.8×W8.8×D2.7 cm 漆、木、金、銀、錫粉ほか



天壤無窮 II H8.8×W8.8×D2.7 cm 漆、木、金、銀、錫粉ほか

ごあいさつ

このたび高島屋では三田村有純漆藝展を開催いたします。
三田村先生は、1949年東京に生まれ、江戸蒔絵赤塚派・8代 祖父 自芳、9代 父 秀雄より蒔絵技法を学び、東京藝術大学大学院で研鑽を積んでこられました。

江戸蒔絵は、江戸時代より全国から蒔絵師が集まり、その中から優れた者が、江戸城内に設けられた御細工所で城内の建造物や調度類の制作に携わったのが始まりとされています。先生は、祖父・父の教えを十代目として受け継ぎ、この江戸蒔絵において独自の表現を探究。東京藝術大学教授や日展会員として後進の指導にあたり、現在は東京藝術大学名誉教授、日展理事として国内外にて活躍されています。

今展では近年の制作のテーマとされている「天と地」を様々な表現、形で創作、造形された新作40余点にて一堂に展覧いたします。何層にも塗り重ねられた漆黒の深淵に、静かに輝きを放つ金や銀の満ちる美しいカタチのひとつひとつを、この機会にぜひご高覧賜りますようお願い申し上げます。

高島屋美術部



地球に座る
H12.5×W10×D6.5 cm
漆、木、金、銀、錫粉ほか



宙に座る
H7.5×W16×D4.5 cm
漆、木、金、銀、錫粉ほか



天地創円
H72×W72×D22 cm
漆、木、金、銀、錫粉ほか

近年の作品テーマを「天と地」としてきました。
漆立体作品は、天と地を御柱（みはしら）と御祠（みほくら）でつなぎ、永遠の発展を表現しています。これらの作品は触れていただき、何世代にも渡り、手で磨かれながら完成していくと考えています。

制作過程で様々な色の漆を塗り重ね、途中で金銀粉を蒔いています。その工程がわかるように、毎日撫で磨いた数世代先の作品を先取りして見られる作品としています。

三田村有純